

インタビュー interview



生野 岳志
明和製作所 社長

駆動装置の電動化に着手

来春の商品化を目指し、自社製SRモーターを搭載した電動バイクの開発に着手しているのは電気モーター製造・販売の明和製作所（前原市志登、生野岳志社長）。回転軸に永久磁石や巻線がなく堅牢で耐久性に優れるSRモーターの製品化を国内で唯一

「実現している。生野社長は「これまでSRモーターの特性をどの分野で生かすかが大きな課題だった。駆動装置の電動化という方向性が決まったことは大きい」と話す。10月からは熊本県の企業と提携し、電動バイクの地域販売機能を持つべく、商品メンテナンスで出ている駆動装置の問題点を今後の開発に応用する考えだ。三菱電機の協力会社として1959年に明和製作所として創

業してから、今年で50周年を迎える同社。創業期に電動工具の製造で養ったノウハウが現在の技術の礎だが、昨秋からの不況の影響を少なからず受け、一昨までは10億円前後だった売上高が、前期は7億7500万円と前年を下回った。「現在は、BRICS向けのインフラ需要などで発電所や鉄道会社などのブレーカーとなる電力遮断器が売り上げを下支えしている。今後は様々な駆動装置を電動化していくことで新たな事業の社を作り出した」と戦略を語る生野社長。

DATA table with company information: 本社 | 〒814-0032 前原市志登130-1, 設立 | 1959年, 資本金 | 2200万円, 従業員数 | 82人, 事業内容 | 電気モーターの設計、製造販売, 売上高 | 17億7500万円 (3月期)

本社は九州大学の移転や糸島市の発足などで活気のある前原地区。産学連携も積極的に活用して製品開発に取り組み構えた50周年を機に新たなスタートを切った同社の今後に注目したい。

明和製作所 電動バイク、3種発売 北部九州限定でメンテナンス重視



「aico」(小型タイプ、19万八千円)、「WARC」(業務用タイプ、29万八千円)の三種を主力として、販売開始している。価格は19万8000円〜29万8000円。2009年度約90台の販売を予定している。

「aico」(小型タイプ、19万八千円)、「WARC」(業務用タイプ、29万八千円)の三種を主力として、販売開始している。価格は19万8000円〜29万8000円。2009年度約90台の販売を予定している。

「aico」(小型タイプ、19万八千円)、「WARC」(業務用タイプ、29万八千円)の三種を主力として、販売開始している。価格は19万8000円〜29万8000円。2009年度約90台の販売を予定している。

「aico」(小型タイプ、19万八千円)、「WARC」(業務用タイプ、29万八千円)の三種を主力として、販売開始している。価格は19万8000円〜29万8000円。2009年度約90台の販売を予定している。

「aico」(小型タイプ、19万八千円)、「WARC」(業務用タイプ、29万八千円)の三種を主力として、販売開始している。価格は19万8000円〜29万8000円。2009年度約90台の販売を予定している。

明和製作所 電気モーター製造・販売の(株)明和製作所(前原市志登、生野岳志社長)は、10月1日、電動バイク3機種を発売した。これはオーシャンエナジーテックニカ(株)(熊本県玉名郡和水平町江田、横山高明社長)が販売する電動バイクを地域販売社として発売するもの。今後は、2社が共同で国産のSRモーター(スイッチトリクタクタンズモーター)を搭載した電動バイクの開発に着手していく計画で、今回は市場調査も兼ねた販売となる。3機種は「MEROS III」(税込価格24万5000円)、「aico」(同19万8000円)、「WARCAR15」(同29万8000円)。最高速度は、それぞれ50km、45km、55kmで、3機種とも家庭用コンセントから充電ができる。今期の売上目標は90台。

生野社長は「通常の原動付自転車に比べ単価が高いので主な顧客対象はCSRなどに熱心に取り組む企業など。今後はさら

「aico」(小型タイプ、19万八千円)、「WARC」(業務用タイプ、29万八千円)の三種を主力として、販売開始している。価格は19万8000円〜29万8000円。2009年度約90台の販売を予定している。

生野社長は大阪府出身、1962年5月30日生まれ、47歳。立命館アジア太平洋大学経営大学院修了、趣味は音楽とスポーツ。

同社は1967年設立。資本金は2200万円。売上高は7億7600万円(3月期)。従業員数82人。

SRモーターは回転軸に永久磁石や巻線がなく、堅牢で耐久性に優れる特徴を持つ。



同社が発売した電動バイク